

社説

昨年來倫敦の銀相場を見るに銀塊一オンスは大抵三十五片内外の價を保ちたりしに本年に入りて次第に下落し
及んで二十五片臺を上下するに至れり斯く銀價の
下落するに從て我國の爲換相場は如何なる影響を被る
やと云ふに本來日本は今尚ほ銀貨國なれば銀價にして
下落すれば金貨國との爲換は其割合に下落して大に輸
出貿易を獎勵す可き筈なるに實際は全く然らずして爲
換は銀價變動の爲めに左右せられざるの觀わり試に其

を吸收したると印度に飢饉時疫流行して銀の需要大に減じたるも主要の原因にして我幣制改革の有無に拘らず銀價の下落は實際免かれざる所なりしからんに此際前後の者もなく幣制改革を斷行して貿易擴張の好機會を逸したるみを退すも遺憾なれ抑も昨年來貿易上に輸入超過の勢を呈し本年に至りて其勢一層甚だしからんとする所趣あるは世人の大に憂慮する所にして今日の僅にて經過するときは結局巨額の正貨流出を免かれざる可し正貨の流出敢て恐る可きに非ず其流出は則ち經濟社會の變態を救ふの効ある可けれども只その勢にして急激なるときは當に金貨本位を維持すると同時に困難のみならず一時物價の暴落を招きて經濟社會の紊亂を見るやも計る可らず左れば今日最も希よ可きは大輸出は更に増進せず依然輸入超過の一方にして貿易の不平均いよ／＼甚しからんとするは取りも直さず諸妨害せんとするは何事ぞや現に銀價の下落に拘はらず局者も既に此邊に憂慮して救濟策の工夫中なる由なるに輸出を獎勵して物産の貿易路を海外に擴張すると同時に一方には金貨本位を實施して却て輸出貿易の癡達を此家基着は今に始めぬ事ながら幣制改革の輕舉暴斷は此に至ていよい／＼狂懲の實を暴露したものと云ふ可し

倫敦の銀塊相場は次第に下落し既に
居りて未だ容易に舊に復す可き確
日貨幣法の實施せらるゝに及んで甚
國庫は圓銀引換の爲めに非常の損失
當局者の狼狽も無理ならぬ事にして
當局者による圓銀の販賣も

を吸收したると印度に飢饉時疫流行して銀の需要大に減じたるも主要の原因にして我幣制改革の有無に拘はらず銀價の下落は實際免かれざる所なりしからんに此際前後の考もなく幣制改革を斷行して貿易擴張の好機會を逸したるおを返すトモ遺憾なれ抑も昨年來貿易上に輸入超過の勢を呈し本年に至りて其勢一層甚だしからんとするの趣あるは世人の大に憂慮する所にして今日の儘にて經過するときは結局巨額の正貨流出を免かれざる可し正貨の流出敢て恐る可きに非ず其流出は則ち經濟社會の變態を致ふの効ある可けれども只その勢にして急激なるときは當に金貨本位を維持するに困難のみならず一時物價の暴落を招きて經濟社會の紊亂を見るやも計る可らず左れば今日最も希よ可きは大に輸出を獎勵して物產の貿易を海外に擴張すると同時に之に依て自から輸入超過の變態を救済するに在り當局者も既に此邊に憂慮して救済策の工夫中なる由なるに輸出は更に増進せず依然輸入超過の一方にして貿易に一方には金貨本位を實施して却て輸出貿易の癡達妨害せんとするは何事ぞや現に銀價の下落に拘はらず輸出は更に増進せず依然輸入超過の一方にして貿易の不平均いよ／＼甚しからんとするは取りも直さず諸制改革の餘響、當局者が自から招さたる所にして其實の大なるに至て憂慮自から措く能はざる其有様は恰自から傷けて其苦を訴ふるものに異ならず當局者の自家業者は今に始め内事ながら幣制改革の輕舉暴斷は此に至りいよ／＼狂惑の實を暴露したものと云ふ可し

○露國農家の狀態（九）

事の實際に於て見得可き
面積、始末に苦む
内に於ては村長が
身上に見知られん
の監視を逃れ
の理由は警察署より
とあり又村長の官務の
も叶はずスタイルシ
の一人を威り果て
られざる所のツチ
俗とを違ひ入れし所
の若しくはヴーロス
百姓の事務に前に
られたる所のツチ
百姓の自治體を
「露國百姓」中に論じ
百姓の自治體を
ツクスは斯の極め
戸々家族の長等
形のツチノヅニツ
り扱ふの仕事には
此新職を奉するにて
通例とせり何など
是の故に彼等が擔
しと定められたる
得る所の書記を併
書記は概して皆、
より拾ひ集められ
書記等に大なる権
彼等の統御を容易
露國の立法者は此
を證明したり如何
んには一例以て足
所に六十五異種類
る可らず則ち彼れ
季に發出せねば不
錄を残さるを得
を思ふ心配を進め
るふと酷に過ぎぬ
なる者の權力濫用
も足らざるふと改
止し警防するは押
實際なり、蓋し一
生れの人なり一新
にヒツサール即ち